

カンガルーシップ活動 ネイバーサポートプロジェクト 実施報告書

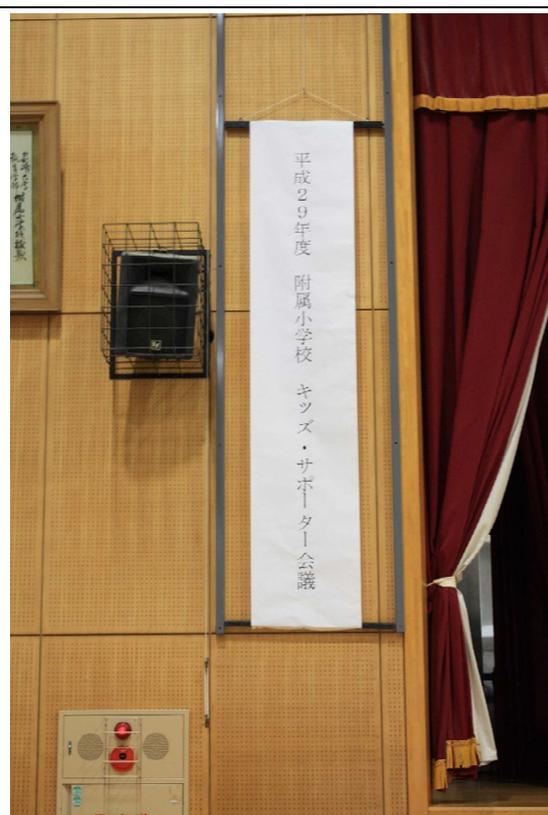
報告日	平成 30 年 2 月 15 日
学校名	宮崎大学教育学部附属小学校
PTA会長名	黒木 勇人

実施概要	実施活動名	キッズサポーター会議「多様性のある子どもたちと向き合う」
	実施日時	平成 29 年 11 月 25 日（土）9 時 30 分～12 時 30 分
	実施場所	宮崎大学教育学部附属小学校 体育館
	実施目的	特別支援学級と通常学級との関わりのみならず、通常学級に内在する発達障害ないしはそのような傾向を持った子どもとの関わり方について、今一度、大人（保護者・教職員）がそれぞれの立場でどのように理解を示し、対応・サポートをしていくことができるか考えるとともに共通理解を図る機会とする。
	実施内容	教師としての経験のみならず、児童相談所等にも勤務経験のある講師に、これまでの実体験を交えた子どもとの向き合い方や心がけなどについて講話をいただき、その後、児童・教職員・保護者・地域の人と一緒に、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきた大阪市立南住吉大空小学校のドキュメンタリー映画である「みんなの学校」を鑑賞し、学校、PTA 等それぞれの立場で多様性のある子どもについて理解を深めるとともに、接し方や向き合う心構えについて考え、共通理解を深めるとともに、意識の共有化を図る。
	実施方法	講演及び映画鑑賞
参加人数	保護者 43 名、教職員 14 名、児童 9 名 近隣の公立小中学校保護者・教員・児童 76 名 計 142 名	

報告事項	内容	下記のプログラムに従い、講師講演と映画鑑賞を通じて、多様な背景、個性を持つ子どもたちに対し、大人がどのような考えや姿勢でかかわっていくべきか、共通理解を深めるとともに、再考する機会とする。 第 1 部 講演（13 時 30 分～14 時 00 分） 講師 川崎 伸幸 先生（附属小学校校長） 演題 子どもたちとのかかわりのなかで 第 2 部 映画鑑賞（14 時 10 分～16 時 00 分） 映画「みんなの学校」鑑賞～多様性のある子どもの人権尊重と触れ合い方について考えよう～
	結果	教師や児童相談所の職員、親としての経験・体験を踏まえた講師の話には説得力があり、各自大人が子どもとどのような気持ちや姿勢で接していけば良いか、頭では分かっているつもりになっていることが再認識され、さらに考えを深める機会になったのではないかと思います。 また、映画鑑賞では、地域や職員、子どもたちが一体となり、問題を抱えた仲間とどのように接し、その子自身がどのように成長していったかを見ることが出来たため、講演と同様に、子どもとの向き合い方を振り返り、今後の対応等について再考する機会となったと思います。 実際、参加いただいた保護者の方々、先生方からのアンケートにおいても、「子どもにかけ言葉の大切さを考えさせられた」、「子どもたちには優しいことばで話かけていきたいと考えるようになった」等のお声を多数いただきました。
	所感	参加者からのアンケート結果も良好で、あらためて子どもとの向き合い方や子どもへの対応について立ち止まって考えていただく良い機会になったと思います。 ただし、反省点としては、児童の参加者が思ったほど多くなかったため、必ずしも親子で考える機会、子ども自身が学校生活や友人関係で同じ子ども同士に対しての触れ合い方等について考える機会にまでなったとはいえ、子どもたちもより多く参加する機会となるべく PR が必要だったと思いました。

添付書類

保護者等の感想、収支決算書



提出日 平成30年2月15日

学校名 宮崎大学教育学部附属小学校

カンガルーシップ活動 ネイバーサポートプロジェクト 参加感想

【保護者・教職員の感想】

- ・子どもの心に向きあう学校があることを知り、うれしい気持ちになった。
- ・学校に通う子どもたちの笑顔と児童相談所での話に関するギャップに驚いた。
- ・子どもにかけ言葉の大切さを考えさせられた。
- ・ユニークな話題も交えながら講話していただいたので聴きやすかった。
- ・多様性のある子どもたちにどのようにかかわっていくべきかを再考する良い機会となった。
- ・子どもたちには優しいことばで話かけていきたいと考えるようになった。
- ・子どもは大人の支援や環境でこんなにも大きく成長することができるのだと知る良い機会となった。
- ・環境が人を育て、人が環境をつくるのだと再認識した。

ほか類似の感想 51 件